

学術情報センターだより

Library and Science Information Center, Nagoya Women's University

学習の効率化を進めるサイバーキャンパス

柴山 正 (短期大学部 学長)

情報社会になり、「インターネットと無関係に生活を送ること」は、ほとんど不可能な世の中である。それ故に、情報教育の充実が要求される昨今である。すでに、コンピュータをユーザーとして利用する情報教育は、「過去のもの」になってきた。つまり「情報の津波」の前に、人間は「コンピュータとの共生・共学」の関係でなければならない。

今、本学はサイバーキャンパスの実現を目指し準備を進めているが、そこで、まず、このサイバーキャンパスが学園にもたらす効果としては、

- (1) 国内外を問わず、距離・時差に関係なく単位互換が容易になり、よりよいネットワーク環境が構築される。
- (2) 教員と学生が授業改善に参加でき、授業の満足度が上昇する。
- (3) 生涯学習など地域社会への貢献ができる。
- (4) 学生が在宅で受講ができるので、入学生の増加の可能性がある。

などが考えられる。

次に、サイバーキャンパスについての期待と課題は、

- (1) 研究的側面：研究と教育の接点として、ユビキタス（時空自在）時代に対応できる情報化の推進が望まれる。
- (2) 教育的側面：学生の多様化・価値観の変化に対応するために、特に教員の「入学から卒業・就職

に至る教育力や指導力」が問われているが、ここでのキーワードは、「情報」であり、「いかにリアルタイムに情報を活用するか」にかかっている。「生きた情報は教育を活性化するエネルギー」である。

- (3) 学生的側面：学生の満足度を高めるために、大学として学生へのサービスを、情報を中心に考えなければ、大学の将来は保証されない。
 - (4) 経営的側面：「教員中心から学生中心」のための情報教育を推進する必要がある。周知のように「eラーニング（遠隔授業）は、インタラクティブ（双方向性）でなければならない」そのための条件として、「施設設備・スタッフ及び内容の充実」等が挙げられる。
 - (5) 社会的側面：地域・社会に開かれた大学にするために「公開授業・各種講座・大学が所有する学術情報の活用」等あらゆる面から学園自体を積極的に広報することが必要である。
 - (6) 情報セキュリティ側面：多種多様の重要な情報を、「いかに管理し、保護し、活用していくか」つまり、この「安全・安心の有無が学園の信用を左右する時代」であり、「情報セキュリティに関わる専門知識を持った人材育成」が急務となる。
- このような配慮を尽くして、本学の「サイバーキャンパス整備事業」が、「学生の満足度をより一層高める機能を発揮すること」を願っている。

◎ 目 次 ◎

学習の効率化を進めるサイバーキャンパス	1
新ユーザー認証システムの導入について	2
コンピュータ共同利用演習室について	2
ライブラリー館内でノートパソコンの貸出を始めます	3
資料の検索方法が変わりました	4・5
情報倫理に関する学生向けガイドラインについて（第1回）	6
新規購入雑誌紹介	7
お知らせ	8

◆ 新ユーザー認証システムの導入について ◆

学術情報センターでは、平成16年4月より新しいユーザー認証システムを導入します。新しいシステムでは、利用ユーザーを識別することによりユーザー毎のディスク領域の割り当てが可能になり、FD等のメディアがなくても電子メールの利用や文章の保存ができるようになります。コンピュータ共同利用演習室やライブラリー等に設置されたコンピュータを利用する際は、オリエンテーションにて個別に配布されるパスワード通知書に記入されたユーザー名及びパスワードが必要になりますので、初期画面(図1)にて「ユーザー名」にユーザー名を、「パスワード」にパスワード通知書に書かれた仮パスワードを入力してください。

	これまでの認証システム		➔	新ユーザー認証システム
	演習室の利用時	メール利用時		
ユーザー名	student	電子メール用ユーザー名		電子メール用ユーザー名
パスワード	st	任意のパスワード		任意のパスワード



図1 ログオン画面

あなたの電子メールアドレス(例)

z4000000@stud.nagoya-wu.ac.jp

ユーザー名

初回は仮パスワード

初回ログオン時に必ず変更すること。

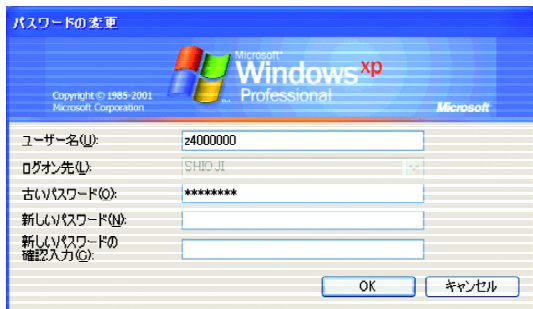


図2 パスワード変更画面

パスワード通知書に書かれた仮パスワードは最初の1回しか利用できません。初回ログオン時にパスワードの変更を要求されますので必ずパスワードを変更してください(図2)。

ここで変更したパスワードは電子メールを使用する際にも利用します。パスワードを忘れた場合コンピュータの利用ができなくなりますので、パスワードの管理にはくれぐれも注意してください。パスワードを忘れた場合は、学術情報センター事務室にて再発行をします。再発行の際には学生証が必要になりますので、必ず持参してください。

◆ コンピュータ共同利用演習室について ◆

1. はじめに

平成16年4月に汐路、天白の両学舎3つのコンピュータ共同利用演習室を更新しました。更新されたのは汐路学舎南2号館103、中央館402、天白学舎2号館425演習室です。また自習室の一部も同様に更新し設備の充実を図りました。ここでは更新された演習室の特徴を中心に利用方法を説明します。

2. 更新のポイント

今回の更新は、平成15年度に更新した汐路学舎南2号館301演習室の仕様を基に機能の向上を図りまし

た。大きな特徴としては、17インチ液晶ディスプレイを採用したことです。本学では平成14年度から15インチ液晶ディスプレイを導入していますが、今回17インチのものを採用することにより、15インチものと比較して60%広い作業領域を確保することが可能となりました。これにより広い作業領域を必要とするCADやコンピュータグラフィックなどのソフト利用時に快適な作業をすることができます。

主な仕様は表1、各演習室に導入する台数は表2のとおりです。

今後も利用しやすい演習室を目指し、設備の充実を図っていきます。

表1 主な仕様

- パソコン Windows XP Professional
Pentium4 3GHz
メモリ 512MB HDD40GB
DVD コンボドライブ
- 17インチ液晶ディスプレイ 1280×1024 ドット
- 640MB MOドライブ
- カラーインクジェットプリンタ

表2 各演習室の台数

	汐路学舎		天白学舎
	南2号館 103	中央館 402	2号館 425
パソコン	37	59	65
プリンタ	19	30	33
スキャナ	7	11	33

3. 共同利用演習室・自習室の利用方法

前項で紹介した演習室を含め、汐路学舎には演習室が5部屋、自習室が2部屋。天白学舎には演習室が2部屋、自習室が1部屋あります。これらは、授業やゼミ等で利用されていない時間帯および入学試験日以外は、自習利用が可能です。利用時間は表3のとおりです。

表3 利用時間および窓口対応時間

利用時間	平日	8時50分～19時30分
窓口対応時間	平日	8時50分～17時20分

パソコン利用時のトラブル（インク切れ、紙詰まり）は窓口対応時間をお願いします。窓口は汐路学舎中央館303、天白学舎2号館323です。

4. 利用上の注意

共同利用演習室・自習室では、下記の事項に注意して、他の利用者に迷惑を掛けないように心がけてください。お互いに気持ちよく利用しましょう。

- ① パソコン利用時は、個別のユーザー名とパスワードを使用してください。
- ② 飲食物を持ち込まないでください。飲食は厳禁です。
- ③ 自分の周りのゴミは持ち帰り、ゴミ箱に捨ててください。
- ④ 大声で私的な話をしないでください。
- ⑤ 一人で複数のパソコンを占有しないでください。
- ⑥ 携帯電話、PHSはマナーモードにして、使用しないでください。
- ⑦ その他利用者の迷惑になる行為は慎んでください。

5. おわりに

研究、自習、レポート作成等に大いに活用してください。詳しい利用方法は学術情報センターシステムサービスのホームページに掲載してあります。

<http://www.nagoya-wu.ac.jp/isc/> (学内専用)

不明な点はお気軽にお問い合わせください。

◆ ライブラリー館内でノートパソコンの貸出を始めます ◆

1. はじめに

平成16年4月よりライブラリー館内にて、汐路・天白両センター合わせて25台のノートパソコンを貸出します。参考図書、データベース等を利用しての課題作成など幅広くご利用ください。

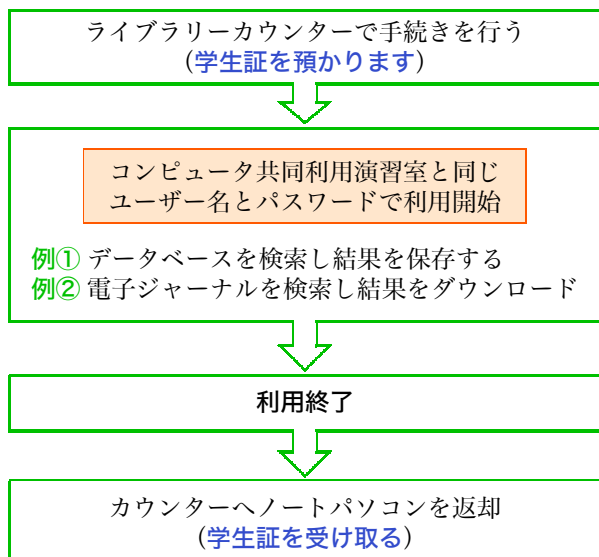
2. 利用できる内容

Word・Excel・PowerPoint・Access等が利用できます。インターネットへの接続も可能なので、館内のみで利用可能だったデータベースへもアクセスできます。

3. 利用上の注意

- ① ノートパソコンの利用は館内をお願いします。
- ② 利用時には必ずチェーンロックをかけてください。
- ③ ヘッドフォンを用意していますので、音が出る場合は利用してください。
- ④ ライブラリーから退館する場合は、必ず返却手続きを行なってください。
- ⑤ 館内では印刷ができません。
- ⑥ なにか異常があった場合は、すみやかに館員にお知らせください。

4. 利用の仕方



5. おわりに

ノートパソコンは皆さんで使うものです。取り扱いには十分注意し、わからないことは館員へお尋ねください。

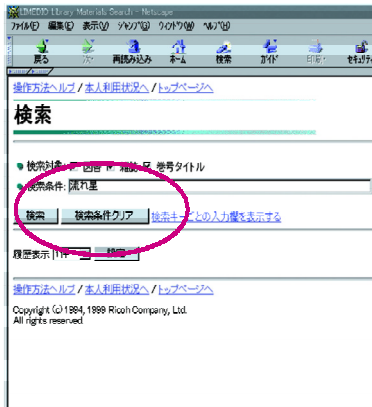
資料の検索方法が変わりました

平成16年度より図書館システムが変わりました。オンライン上に詳しいマニュアルを用意していますが、ここでは、資料の検索に関して今までと異なる点を紹介します。その他ご不明な点などがありましたら、気軽にカウンターにお問い合わせください。

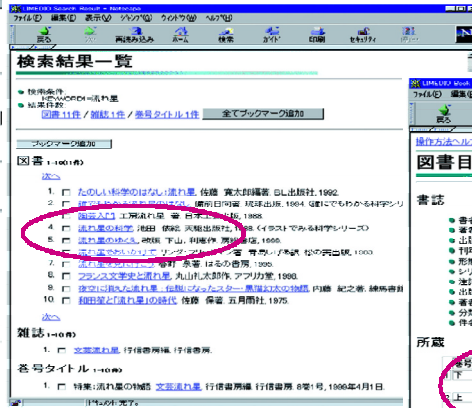
● 基本的な流れは変わりません！

1. 検索画面の「検索条件」に探したいキーワードを入力し、検索ボタンをクリック。
2. 検索結果一覧の画面で、希望の図書の書名をクリック。→図書目録情報が表示される。
3. 図書目録情報の画面で所在・貸出状況を確認し、請求記号をメモして配架場所へ。

1. 《検索》画面



2. 《検索結果一覧》画面



3. 《図書目録情報》画面



● 以前のシステムとの変更点

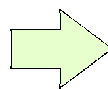
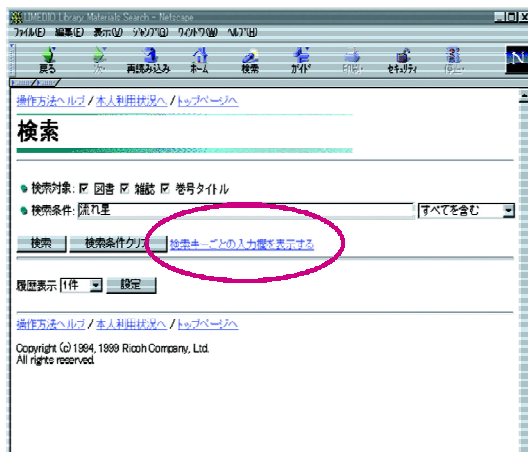
検 索

1. シンプルな検索画面

普段インターネットで使っている google のような、シンプルな検索画面になりました。全文検索機能を装備しているので、単語の区切りや文字の分かちを意識することなく、任意の文字列で検索条件を指定できます。

2. 詳細検索モード

以前のシステム同様、詳細検索モードも用意しています。詳細検索モードを利用する場合は、「検索キーごとの入力枠を表示する」をクリックしてください。



3. 検索履歴の表示

画面上部の「検索へ」をクリックして「検索画面」に戻ると、検索履歴を表示できます。検索履歴の表示件数は、必要に応じて“1件、10件、全件”のうちから選べます。



4. 検索結果が多い場合の絞り込み

検索結果を更に絞り込む場合は、前述の検索履歴の画面で新たな検索条件を入力して、絞り込みたい履歴の「絞り込み」ボタンをクリックしてください。

検索結果一覧画面

1. 図書・雑誌の表示欄

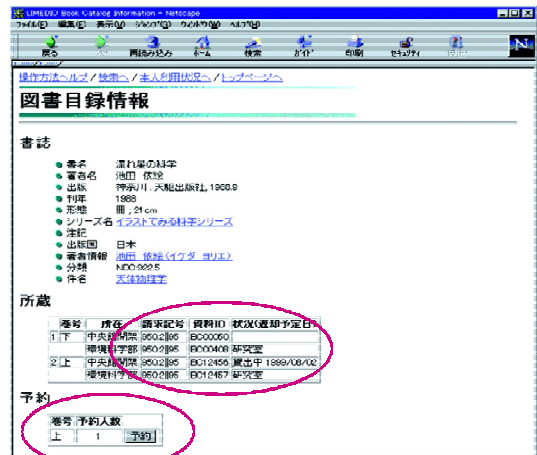
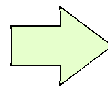
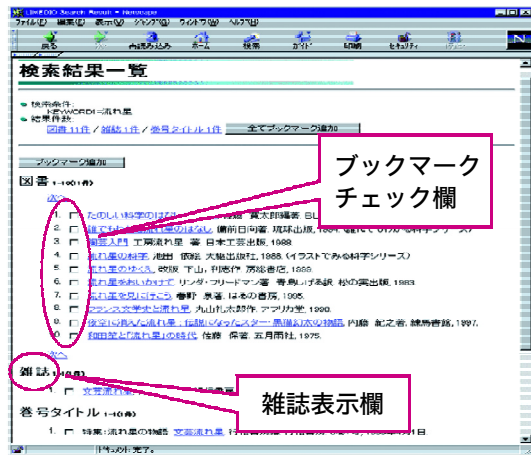
新システムでは、図書と雑誌で表示欄が分かれています。

2. ブックマークによる複数資料の一括確認

ブックマークを付けることにより、まとめて資料を確認できます。

3. 請求記号の確認

今までは検索結果一覧でも請求記号を表示していましたが、新システムでは図書目録情報の画面のみでの表示となります。



予 約

貸出中の図書を予約したい場合は、予約ボタンを押して個人認証の画面に進んでください。個人認証が完了すると、個人別の画面が表示されます。なお、新システムでは、予約のみならず予約取消しも可能になりました。

● **利用者端末の利用について** ●

平成16年度より、館内の利用者端末も、コンピュータ共同利用演習室と同様にユーザー名とパスワードの入力が必要になりました。認証についての詳細は「新ユーザ認証システムの導入について」をご覧ください。

◆ 情報倫理に関する学生向けガイドラインについて(第1回) ◆

本学は、平成14年度「名古屋女子大学情報倫理基準」を制定し、この基準を基に「情報倫理に関する学生向けガイドライン」を策定しました。このガイドラインは、学生の皆さんが本学の情報システムを利用するにあたって遵守すべき事項をまとめたものです。

今後、この紙面でガイドラインを皆さんによく理解していただくために、わかりやすく説明していきたいと考えております。では、第1回として以下の条文について説明します。

◎ 一般的な利用について

本学の情報システムを利用するものは、以下の事項を遵守しなければならない。

1. 自己のアカウント及びパスワードは秘密としなければならない。また、十分なセキュリティを維持できるよう、自己のパスワードの設定及び変更には配慮しなければならない。特に、他の利用者のアカウントを使用してはならない。いかなる場合も他の利用者のパスワードを聞き出してはならない。

(説明) インターネット等に接続するために、コンピュータに設定した自己のアカウント及びパスワードは、あなたが正当な利用者であることを証明する情報です。キャッシュカードの暗証番号のように、あなたの財産とプライバシーを守っているだけでなく、コンピュータシステム全体を不正なネットワーク利用から保護する役目も果たしています。

自己のアカウント及びパスワードを他人に利用されないようにすることは、インターネット利用者の大切な義務です。また、パスワードはわかりにくいよう工夫して、定期的に変更するよう習慣づけましょう。

そして、パスワードを入力している場面を他人に覗かれないようにしましょう。また、親しい間柄であっても、他の人のパスワードでコンピュータシステムに接続することは、誤解や争いの種になりますので気をつけてください。

2. 本学の情報システムは教育研究及びそれに関する事柄に利用するためのものであり、それ以外の目的に利用してはならない。特に、商業目的に利用することは禁止する。

(説明) 大学は教育・研究機関であって、営利を目的とする機関ではありません。そのため、コンピュータシステムに接続する場合は、営利等商業目的に利用することは禁止されています。

3. 作成者または所有者の許可なく、情報システムに存在する情報を複製等してはならない。特に、知的財産権(著作権、商標権、特許権など)を十分尊重しなければならない。

(説明) 文章や写真、音楽、ソフトウェアなどの著作物に関する権利は、著作権者だけが持っています。私たちがこれを複製、転載したり、改変したりする場合は、著作権者の許諾を得なければなりません。

4. 第三者のプライバシーに対しては、十分尊重しなければならない。特に、通信相手を罵倒したり、誹謗中傷するような行為は厳禁する。

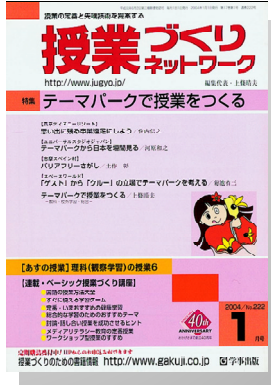
(説明) 他人の発言に反論する場合には、相手の気持ちを傷つけないように注意してください。いやみをいったり、相手を罵ったりしてはいけません。相手の人格を否定するような過激な書き方は、決してしないでください。あまり度が過ぎると、法的な責任を問われる深刻な事態になることがあります。

5. 置忘れ等による他人の情報を流用することを禁止するとともに、他人の情報媒体を発見した場合は直ちに所定の部署に届け出なければならない。

(説明) 所定の部署とは学術情報センターですので、当センターまでお願いします。

新規購入雑誌紹介

ライブラリーでは、一般誌から学術誌まで、多くの雑誌を所蔵しています。今回は、平成15年度新規購入和雑誌のうち、天白センター所蔵のものをいくつか紹介します。



■授業づくりネットワーク【月刊】(学事出版刊 ネットワーク編集委員会編)

小学校から高校までの、様々な科目での授業実践例が掲載されています。記事の執筆者はほとんどが現役の学校教師です。実際にその授業で使用した資料や、授業風景を写した写真などが多数掲載されており、教育現場の一端を知ることができます。また、雑誌で取り上げられたホームページは、授業づくりネットワークのホームページリンク集から見ることができます。[授業づくりネットワークホームページ (<http://www.jugyo.jp/>)]

■文部科学時報【月刊】(ぎょうせい刊 文部科学省編)

文部科学省の総合広報誌です。教育・文化・スポーツ・科学技術・学術各般の施策の動向を紹介しています。文部科学政策についての解説のほか、関連する事例も多く掲載されています。また、重要な審議会答申等が特集号となることもあります。ニュースで良く聞く文部科学政策について調べたいときなど、手にとってみてください。また、新聞やその他の雑誌と読み比べてみるのも面白いかと思います。



■保育学研究【年2回刊】(日本保育学会刊行 日本保育学会編)

日本保育学会の機関誌であり、保育問題に関する様々な研究論文を掲載しています。また、巻末には、保育学の歴史を紹介する記事や、保育学関係の紀要文献一覧などの情報も掲載されています。保育学関連分野に興味がある方は、定期的に目を通すとよいのではないのでしょうか。内容は専門性が高いものですが、研究論文とはどんなものかを知るためにも、一度は手にとって見ていただくことをお勧めします。

このほかにも、多くの雑誌を所蔵しています。また、新規購入雑誌もたくさんありますので、ぜひ一度見に来てください。

汐路所蔵	天白所蔵
日本家庭科教育学会誌	女性学
消費者教育	教育方法学研究
家政学原論研究	異文化間教育
月刊家庭科教育	数学教室
くらしと教育をつなぐ We	Inter communication
技術教室	総合学習



(平成15年度新規購入雑誌の一部です)

お知らせ

■ホームページが新しくなります

図書館システムが平成16年度から変わるのに伴い、ホームページも新たに生まれ変わります。

図書・雑誌の所蔵検索はもとより、データベース検索、貸出予約、文献複写依頼など、さらに便利に使いやすくなります。ご期待ください。

■新規導入データベースのご案内

平成16年度より以下のサービスを開始しました。オンラインサービスは学術情報センターライブラリーサービスのホームページからリンクしています。

タイトル	形式	サービス形態	内容
J-Dream	オンライン	学内での利用	従来のJOISの固定料金制として、学内のどこからでも文献の検索、抄録と、医学・薬学予稿集の全文が無料で利用できます。
ジャパンレッジ	オンライン	学内での利用	百科事典をはじめ、辞書、記事のみならず、東洋文庫、映像ライブラリー等のコンテンツが利用できます。 [収録コンテンツ] 辞書・事典・データベース 日本大百科全書（ニッポニカ） 大辞泉 Encyclopedia of Japan 日本人名大辞典 現代用語の基礎知識 ランダムハウス英和大辞典 プログレッシブ英和中辞典 プログレッシブ和英中辞典 Web版 最新英語情報辞典 JK Who's Who Multimedia Internet 事典 全国鉄道駅データベース 60万冊の書誌データ bk1 世界の書籍 amazon.co.jp ニッポニカ URLセレクト 記事・コラム 山根一眞のIT 書齋術百科 亀井肇の新語探検 田中宇のワールド・クロニクル 週刊エコノミスト NNA：アジア&EU 国際情報 カルチャー・マルチメディア 三留理男の眼 東洋文庫 荒俣宏の新・想像力博物館 映像記録 1908-2003 Rand McNally 世界地図 大自然ビデオライブラリ 図解アニメーション ミュージックライブラリ サウンドライブラリ 年表 国旗・国歌総一覧
中日新聞・東京新聞記事データベース	オンライン	学内での利用	1987年4月からの記事、約250万件の検索と全文の利用ができます。愛知、三重、岐阜県の全地域版も収録しています。
EBSCOhost「Academic Search Elite」	オンライン	学内での利用	人文・社会・理工・生物医学などの学術雑誌の全文（約1,800誌）及び抄録（約3,200誌）がオンラインで利用できます。
JCR (Journal citation reports)	CD-ROM	汐路センター	Science edition (4500誌)、Social science edition (1400誌)のインパクトファクターを掲載。タイトル、分野、出版国からの検索ができます。

※各データベースの利用マニュアルは学術情報センターライブラリーにあります。操作方法等、不明な点はライブラリーカウンターにお問い合わせください。

■ライブラリーサービス講習会のご案内

ライブラリーサービスでは、図書館をフルに活用してもらうための各種講習会を行っています。

新入生の皆さんには、ライブラリーホームページからの本の探し方や館内ツアーを行い、初歩的な図書館の使い方を説明しています。詳しい日程については後日お知らせしますので、必ず参加してください。

ゼミ生及び大学院生の皆さんには、各研究内容にあわせた文献収集の方法を説明しています。随時受付けていますので、希望される研究室の方はライブラリー閲覧カウンターまでお申し込みください。

名古屋女子大学 学術情報センターだより 第43号 発行日：平成16年4月1日

発行：名古屋女子大学学術情報センター
〒467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町3-40

●ライブラリーサービス TEL (052) 852-9768
●システムサービス TEL (052) 852-1120